居住システム系の教育訓練目標

居住システム系の構成（能開大に設置されている科のみ表記）

- 居住システム系
  - 住居環境科
  - 建築科

■業界に求められる人材像

建築業界における建築生産は、工業化技術の発展や情報化技術などによる技術革新や経済社会、顧客ニーズの変化によって多様化している。

近年、生産年齢人口の減少による労働者不足が大きな課題となる中、生産性の向上や効率化が求められている。

また、カーボンニュートラルへの取り組みが広がる中、建築物の施工や利用における CO2 排出量の占める割合の高さから建築業界におけるカーボンニュートラルへの対応が求められている。

このような状況に対応するため、鋼構造、鉄筋コンクリート構造、木構造等の設計から施工に係る高度な知識、技能・技術を兼ね備えるとともに、BIM などのデジタル技術の活用や環境負荷の低い建築物などにも柔軟に対応でき、リーダーシップ力を持ち合わせた人材が求められている。

（1）住居環境科

■教育訓練目標

住居環境科では、住空間と人間、社会、自然との関わり方について理解するとともに、計画(建築計画／建築設計実習 等)、構造(建築構法／構造力学 等)、施工(建築施工／建築施工実習 等)、環境(環境工学／インテリア計画 等)について習得し、建築設計業、建築業などの設計者や施工管理者として活躍することができる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた人材を育成する。

（2）建築科

■教育訓練目標

建築科では、建築物の基礎的分野、先進的分野について理解するとともに、計画(建築計画／建築設計実習 等)、構造(建築構法／構造力学 等)、施工(施工管理／建築施工実習 等)について習得し、建築設計業、建築業などの設計者や施工管理者として活躍することができる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた人材を育成する。